

8月22日に行われた任期満了に伴う平泉町長選挙の投開票の結果、菅原正義氏（56歳・泉屋）が初当選しました。

翌日には町選挙管理委員会委員長から当選証書が手渡され、8月27日から4年の任期で平泉町第10代町長に就任しました。

新町長に菅原正義氏

任職あいさつ 町民との協働のまちづくり 足腰の強い自治体を目指して



すがわらまさよし
平泉町長 菅原 正義

【略歴】
昭和47年一関第二高等学校卒業。同年町職員採用。企画情報室長、総務企画課長などを歴任し、建設水道課長を最後に平成22年7月退職。平泉字泉屋。56歳。

このたびの平泉町長選挙におきまして新しく町長に就任いたしました菅原正義でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

就任に当たりまして、今後の町政に対する考えの一端を述べさせていただきます。

昨年8月の衆議院選挙後の政権交代と今年7月の参議院選挙の結果を見るにつけ、我が国は政治的にも経済的にもかつて経験のない大混乱の中にあると思われまます。

また市町村を取り巻く情勢では、平成の大合併も終息の時を迎えるとともに、地方分権の動きが急速に進行している中、地方の役割が国全体の中でどのような位置付けになるかまだまだ不透明な状況にあります。

地方自治体はこのような状況を踏まえ、今だからこそ時代のすつ勢に流されることなく、足腰の強いまちづくりを目指していくべきものと考えております。

そのためには、住民の方々と共に「地域主体のまちづくり」

「協働のまちづくり」を進め、まちの地域力を高めていくことが重要であると考えております。

さらには、これからの平泉を担う若者や子どもたちのために、積極的に企業誘致を進め雇用の場の確保を図りながら、住宅対策や子育て環境の充実などを推し進めて参りたいと考えております。また一方では、平泉の特徴である観光と農業、商工業との連携を図りながら、特に新規就農者や営農組織への支援、さらには道の駅の整備による地場産業の振興を進めてまいります。

平泉の世界遺産登録につきましましては、今月の7日から9日の3日間においてイコモスによる



初登庁で職員に拍手で出迎えられる菅原町長

現地調査が行われることから、その対応に万全を期してまいります。さらには来年の世界遺産登録に向けて、人と車の受け入れ態勢の早期整備や公共交通機関の拡充などを図るとともに、町民皆さまのご協力を頂きながら全力で対応してまいります。

厳しい財政状況にあつて、来年の世界遺産登録への取り組みや大型事業である平泉中学校校舎の建設、さらには企業誘致や定住化対策の推進など、直面する諸課題に対して、町職員として長年行政の中で培った経験と行動力で町民一人ひとりと一緒に活力あるまちづくりを目指して取り組んでまいります。

これからの町政の推進に当たりましては、町民の皆さまのご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。ご協力をお願い申し上げます。

平泉町長選挙の投票率は79.35%

平泉町長選挙の投票結果

(平成22年8月22日執行)

投票区	選挙当日有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
1	522	418	80.08
2	250	217	86.80
3	270	237	87.78
4	734	545	74.25
5	1,253	851	67.92
6	1,880	1,550	82.45
7	788	659	83.63
8	749	625	83.44
9	654	532	81.35
計	7,100	5,634	79.35

投票者数は期日前・不在者投票を含む

町長選挙の開票結果
(8月22日20時30分確定)

当 菅原正義 56 無・新) 2841票
高橋一男 70 無・現) 2763票

平泉町長選挙の投票が8月22日、午前7時から町内9カ所の投票所で行われました。当日の有権者数は7100人、町全体の投票者数は5634人でした。投票率は79.35%で、13年前(平成9年)の町長選挙の投票率(88.75%)より9.4%下がりました。また午後7時15分から平泉小学校体育館で即日開票が行われ、開票の結果、菅原正義氏が初当選しました。町長の任期は平成22年8月27日から平成26年8月26日までです。

開票結果と投票所ごとの投票率は左記の通りです。

県に支援を要望

県に対する市町村要望が8月9日、奥州地区合同庁舎で行われました。町長、町議会議長らが県南広域振興局長に対し「平泉の文化遺産」の世界遺産登録推進や柳之御所遺跡の史跡整備促進など、10項目について支援と協力を要望しました。

教育・文化関係

▼「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた支援について
再び世界遺産登録を目指すためには、多額の経費が見込まれる。一層の財政的な支援を要望したい。

▼柳之御所遺跡の史跡整備の促進について
同遺跡については、本年4月に史跡公園として開園した。保存に至った経緯などを考慮しながら基本計画に基づき、今後とも県主体で進めてもらいたい。

▼史跡等の整備・活用に係る予算の拡充について
史跡等の保存管理に万全を期すため、積極的な助成など特段の配慮をお願いしたい。

▼国立博物館の誘致と平泉文化研究機関の早期設置について
東北地方の歴史文化を総合的に調査研究する研究施設の誘

道路・河川関係

▼(仮称)平泉スマートインター「整備促進について」
高速道路の中尊寺パーキングにETCを利用したスマートインターチェンジの整備を計画している。計画の促進に向け、特段の支援をお願いしたい。

▼主要地方道一関北上線と一般県道相川平泉線道路改良事業の促進について
二路線が交差する付近などは縦断勾配とカーブがきつく、歩道も極端に狭い。通学路にも使用されていることから改良整備に特段の配慮をお願いしたい。

観光関係

▼JR平泉駅の機能強化に向けた支援について
同駅への総合案内センターの設置と休憩施設の整備、ホーム連絡橋のバリアフリー化などについて、JR東日本への町と連携した要請行動と、財政的な支援を要望したい。

農業関係

▼北上川上流改修一関遊水地事業の促進について
一関遊水地事業は地域住民の生活の不安を解消することから、一日も早い完成を期待している。事業の促進について、国への働き掛けをお願いしたい。

▼北上川上流改修一関遊水地事業に係る農業振興について
水害に強い「飼料用稲」の生産拡大に向けた、再生産可能な価格補償、飼料用稲の供給先の確保、乾燥、貯蔵施設の設置について、国への働き掛けをお願いしたい。